



広報

ななほ

市民の友

第711号 毎月1回発行
2010年(平成22年)

4月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号
☎867-0111 ●印刷 (株)近代美術

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2010(平成22)年2月末現在	
総人口	318,063 (2,194)
男	153,531 (1,111)
女	164,532 (1,083)
世帯数	134,814 (1,371)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	95,314
真和志	104,430
首 里	58,067
小 禄	58,058



NAHAの若者たちの活躍をご覧あれ!

第2回NAHANUフォーラム開催

3月14日(日)、テンプス館前広場で、市内で活躍する若者たちの活動の紹介や成果の発表、および若者同士の交流を目的に、「NAHANU フォーラム」が開催されました。

2回目となる今回は、日頃からボランティアやNPO活動などを行っている22の団体が参加しました。会場では、若者たちの活動を紹介する展示ブースの他、高知県の伝統的な踊り「よさこい」の演舞や那覇のローカルヒーロー「ムムヌチハンター」のアトラクションなど、賑やかな舞台が繰り広げられ、訪れたみなさんの目を楽しませていました。

またプログラムの一環として、「跳び出せー市長室」も行なわれ、若者たちは、地域活動に積極的に参加したいという熱い思いを、直接、翁長市長にぶつけていました。翁長市長は「みなさんの地域貢献への意欲を知り、とても嬉しく思います。みなさんの思いは那覇市が目指す協働のまちづくりと一致しています。高齢化していく自治会に、みなさんの若い力を取り入れていけるよう、お互い歩み寄ることが大切です」と話しました。

この日は、あいにくの雨模様でしたが、会場は若者たちの活気で溢れていました。

主な紙面

- 2 チョー魅力的なエコ活動
- 3 「なは市民協働大学」募集のお知らせ
- 4 市民県民待望の「沖縄セラースタジアム那覇」
- 5 「沖縄セラードーム那覇」オープン!!
- 6 情報PACK
- 7

協働のまちづくり つむぎ 那覇を紡ぐ

54

公園ボランティアのみなさんの意見交換や日ごろの活動状況の報告を通して、互いの交流を深める、公園ボランティア懇談会及び表彰式が、2月4日(木)に緑化センターで開催されました。

公園ボランティアとは、「協働によるまちづくり」の一環として、市と協定を結んだ自治会や企業に公園の清掃などの維持管理をしてもらう活動を通じて、地域の活性化を図ることを目的としています。2月1日現在で協定を結んでいる団体は、公園愛護会が110、自治会が15、企業が26と、合計で151団体にも上ります。

懇談会では開催のあいさつとして、公園愛護会を代表して上江洲澄子さんが「人づくりは環境づくりといわれます。住民一人ひとりが、できることから身近な公園の美化に協力していくことが大切です」と話しました。

また、この日は与儀なごみ会、プリン山公園里親会、首里地区ゲートボール協会、前島3丁目なかよしグループ、具志宮城東公園子ども会、壺川市宮住宅自治会、松島自治会、株式会社ホープ設計、株式会社琉球補聴器、株式会社オカノの団体表彰と、伊差川和子さんの個人表彰も行なわれました。表彰を受けた伊差川さんは「市内には、私以外にもボランティア

まちの緑のために できること

をしている方はたくさんいますが、継続していくのは難しいようです。もっともっと、ボランティアの方々が増えることを期待しています」と話していました。

その後、市長がDo協働!それいけ営業部長として「学校区のコミュニティづくり」をテーマに、講演を行ないました。市長は公園ボランティアのみなさんにお礼を述べた後、「21世紀はみんなが持っている力を出し合って、その力を繋ぎ合わせて、まちづくりに活かしていかなければなりません。自治会のみなさんとPTAのお父さんお母さんが協力しあうことで、子どもだけでなく高齢者のみなさんを支え、地域の安全を守る仕組みづくりを図っていきたく思います」と、学校区のコミュニティづくりの必要性について話しました。



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。



懇談会で表彰を受けた公園ボランティアみなさん。